

# 2008年度 CAUA活動報告

CAUA事務局 滝島繁則、高橋雅子  
E-mail: caua-ad@ctc-g.co.jp

## 1. はじめに

本文は、CTC アカデミックユーザーアソシエーション（以降CAUAと略す）の2008年度における活動の概要を報告するものです。

## 2. 第9回定時総会

総会はCAUAの活動方針・内容を決定する重要な機関ですが、2008年度の第9回定時総会は2008年6月6日（金）に、東京都千代田区の主婦会館プラザエフで開催されました。

まず、林英輔会長に開会のご挨拶を頂いた後、総会議長に東京大学大学院の斎藤馨先生が満場一致で推挙され、議案が審議されました。議案と審議内容は以下の通りです。

- 第1号議案：2007年度活動報告  
事務局より2007年度の活動内容について報告を行い、全会一致で承認を頂きました。
- 第2号議案：2007年度会計報告  
事務局より2007年度の会計報告を行い、学校法人根津育英会・小野成志会計監事より、事務局報告に誤りがない旨報告があり、全会一致で承認を頂きました。
- 第3号議案（1）：2008年度役員人事  
運営委員のうち、駒澤大学・宮下誠先生のご退職により、後任に駒澤大学・松村博先生が運営委員に選任されました。
- 第3号議案（2）：2008年度活動計画  
事務局より以下通り活動計画と予算について報告を行い、全会一致で承認を頂きました。
  - (1) 第9回定時総会  
会期2008年6月6日、東京開催。
  - (2) CAUAフォーラム  
会期2008年6月6日、東京開催。
  - (3) 第7回合同研究分科会  
会期2008年10月24日、東京開催。
  - (4) CAUAシンポジウム2008  
会期2008年11月28日、開催地別途検討。
  - (5) 運営委員会  
年度内に3回開催を予定。
  - (6) 会誌「VIEW POINT 第9号」

2009年3月発行を計画。

- (7) ホームページ、メールマガジンの充実
- (8) 会則集改訂版作成
- 第3号議案（3）：2008年度予算  
原案通り承認されました。
- 第4号議案：懇親会に関わるコンプライアンスの件  
これまで、会員の懇親会費は無料扱い（会費に含まれるとの解釈）して参りました。しかし、コンプライアンスの観点から、今後、懇親会は会費制とすることでご承認いただきました。

以上の通り、4件の議案は全て全会一致で承認され、総会は無事終了しました。

## 3. CAUA FORUM 2008

2008年6月6日（金）の定時総会終了後に、同じく主婦会館プラザエフ・国際会議場クラルテにおいて「CAUA FORUM 2008」が開催されました。テーマは「大学における電子メールを再考する」で、プログラムは以下の通りでした。

- 開会挨拶 林英輔先生（麗澤大学）
- 基調講演  
「大学の電子メールに求められるもの」  
安東孝二先生（東京大学）
- パネルディスカッション：第1部  
パネリスト発表
  - ・「セキュリティポリシーと電子メール」  
武藏泰雄先生（熊本大学）
  - ・「京都工芸繊維大学における運用事例」  
梶田秀夫先生（京都工芸繊維大学）
  - ・「Google Appsを利用した学生サービスシステムについて」  
吉野英治先生（日本大学）
- パネルディスカッション：第2部  
『電子メールの現状とこれから』
  - ・パネリスト  
梶田秀夫先生（京都工芸繊維大学）  
武藏泰雄先生（熊本大学）  
吉野英治先生（日本大学）



図1： CAUA FORUM 2008会場の模様

- ・コーディネーター  
中島淑乃（伊藤忠テクノソリューションズ株式会社）

#### □懇親会

その後、館内別会場において、懇親会が行われました。

無料電子メールサービスの登場により、大学における電子メールの有り方に関する興味が高まっていることを受け、101名の参加者で会場は満員の盛況でした。

パネルディスカッション第1部は、パネリストの皆さんからお一人15分ずつの発表を頂きました。熊本大学・武藏先生からは、大学のガバナンスと電子メールシステムの在り方、京都工芸繊維大学・梶田先生からは電子メール運営から見えてくる課題、日本大学・吉野先生からは無料メールサービス導入の経緯について、夫々、ご発表を頂きました。

パネルディスカッション第2部では、注目の無料メールサービス導入の可否を巡って、パネリストが白熱した論戦が交わされました。最終的には各大学のポリシーに委ねるべしということになりましたが、そこに至る論理、検討すべき事項は、興味深いものがあり、参考となるどころが大でした。

白熱したパネルディスカッションの余韻か、懇親会場のあちらこちらでも、熱い議論が展開されていました。

## 4. CAUA第7回合同研究分科会

2008年度の研究分科会は「ITがあるから、大学は変わる!」と題して、2008年10月24日(金)に東京・四ツ谷の主婦会館プラザエフで行われました。プログラムは以下の通りでした。

- 開会挨拶 林英輔先生（麗澤大学）
- 基調講演 「早稲田大学の情報化戦略」

深澤良彰先生（早稲田大学）

#### □大学改革トラック

- ・特別講演「学生による授業評価と今後のビジョン」

山本泰先生（東京大学）

- ・「ITは大学運営の効率化に貢献しているか?」

只木進一先生（佐賀大学）

- ・「管理者不在のネットワーク構築ビジョン」

小野成志先生（学校法人根津育英会）

- ・「新しい時代の始まり!～クラウドコンピュータ時代における日本大学の情報化ビジョン～」

吉野英治先生（日本大学）

#### □教育研究トラック

- ・「群馬大学における IEEE 802.11n 無線LANネットワークの構築と運用」

上田浩先生（群馬大学）

- ・「並列計算環境として利用可能な情報教育用PCシステムの構築と運用」

倉前宏行先生（大阪工業大学）

- ・「森林映像モニタリングデータを使った環境学習デジタルコンテンツ配信実験」

斎藤馨先生（東京大学）

- ・「機関リポジトリを越えて-埼玉大学における情報戦略-」

村田輝先生（埼玉大学）

#### □ソリューショントラック

- ・「シスコ データセンターソリューション～サーバファームの変革～」

相川哲也氏（シスコシステムズ）

- ・「キャンパスならではの情報発信：デジタルサイネージ」

鬼頭稔氏（伊藤忠テクノソリューションズ株式会社）

- ・「AXIOLEによるネットワーク認証アカウント管理のご案内」



図2： CAUA第7回合同研究分科会の模様

菅浩憲氏（株式会社ネットスプリング）

- ・「SunVDIによるDesktop仮想化のススメ」
- 小林一生氏（伊藤忠テクノソリューションズ株式会社）

総参加者数は95名となり、盛況の裡に無事終了致しました。

今回の研究分科会は、基調講演終了後に、3会場に分かれて講演を同時並行する形式にチャレンジ致しました。また、講演数も基調講演を含めて13件と、CAUA史上最大規模のイベントとなりました。

一方で、アンケートの内容を見ますと、「重なって聞けない講演があって残念」、「丸1日の会合にして、全部の講演を聞けるようにして欲しい」等の要望が多くあり、これは来年度以降の参考にさせて戴きたいと思えます。

## 5. CAUAシンポジウム2008 in やまなし

CAUAでは「地域の情報化」をテーマとしたCAUAシンポジウムを全国各地で開催して参りましたが、本年度は山梨県甲府市を会場として、「医療情報化が地域を救う！」をテーマに開催致しました。プログラム詳細は以下の通りです。

- 開会挨拶 斎藤馨先生（東京大学）
- 基調講演 「住民視点からの地域医療情報化の現状と課題」  
林英輔先生（麗澤大学）
- 特別講演 「地域保健医療における情報の利活用」  
山縣然太朗先生（山梨大学）
- パネルディスカッション：第1部  
パネリスト発表
  - ・「眼科遠隔診断と診断用ロボットの開発」  
郷健太郎先生（山梨大学）
  - ・「山梨の地域情報基盤とその応用」  
八代一浩先生（山梨県立大学）
- パネルディスカッション：第2部  
『大学発：医療情報化の新潮流を検討する』
  - ・コーディネーター  
林 英輔先生（麗澤大学）
  - ・パネリスト  
郷健太郎先生（山梨大学）  
八代一浩先生（山梨県立大学）  
山縣然太朗先生（山梨大学）



図3： CAUAシンポジウム2008 in やまなし会場の模様

参加者は38名で、様々な視点から、社会共通資本である地域医療に関する、内容の濃い議論が戦わされました。また、議論の中から山梨県の地域情報化に対する先進的な取組みを理解することができ、大変に有意義な会合になりました。

また、シンポジウムの熱気が伝播し、懇親会も大変賑やかに開催することができました。

## 6. ホームページ、メールマガジンの充実

本年度はCAUAホームページの作成・更新、メールマガジンの発行を以下の通り行いました。

- (1) オンライン VIEW POINT  
2008年3月に発行した会誌「VIEW POINT」8号をPDF化してWebに公開しました。
- (2) イベントレポート  
2008年度に実施した以下の3件のイベントの開催レポートを作成し、CAUAホームページに掲載しました。
  - CAUA FORUM 2008
  - CAUA第7回合同研究分科会
  - CAUAシンポジウム2008 in やまなし  
CAUAホームページのURLは以下の通りです。是非、ご確認下さい。  
(URL) <http://www.ctc-g.co.jp/~caua/>
- (3) メールマガジン  
電子メールを利用したメールマガジン「CAUA Academic Newsletter」を年度内に9回発行しました。
  - VOL.9 NO.1（2008年5月27日発行）
  - VOL.9 NO.2（2008年6月30日発行）
  - VOL.9 NO.3（2008年7月31日発行）

- VOL.9 NO.4 (2008年9月25日発行)
- VOL.9 号外 (2008年10月9日発行)
- VOL.9 NO.5 (2008年11月18日発行)
- VOL.9 NO.6 (2008年12月25日発行)
- VOL.9 NO.7 (2009年1月20日発行)
- VOL.9 NO.8 (2009年2月10日発行)

## 7. 運営委員会

2008年度は運営委員会が3回開催され、CAUAの具体的な活動内容が決定されました。

### (1) 2008年度第1回運営委員会

- 出席役員 (運営委員は50音順)
  - 林 英輔会長 (麗澤大学)
  - 斎藤 馨運営委員長 (東京大学)
  - 安東孝二運営委員 (東京大学)
  - 小川禮子運営委員 (女子栄養大学)
  - 島野顕継運営委員 (大阪工業大学)
  - 小野成志会計監事 (学校法人根津育英会)
- 日時：2008年4月16日 (金) 16:00～17:30
- 場所：CTC 本社会議室 (東京都千代田区)
- 議題
  - ①「VIEW POINT」第8号完成報告
  - ②2007年活動報告案討議
  - ③2007年度会計報告案討議
  - ④2008年度活動計画案及び予算案討議
  - ⑤役員人事案討議

### (2) 2008年度第2回運営委員会

- 出席役員 (運営委員は50音順)
  - 林 英輔会長 (麗澤大学)
  - 斎藤 馨運営委員長 (東京大学)
  - 安東孝二運営委員 (東京大学)
  - 小川禮子運営委員 (女子栄養大学)
  - 坂下善彦運営委員 (湘南工科大学)
  - 島野顕継運営委員 (大阪工業大学)
  - 松村博運営委員 (駒澤大学)
  - 小野成志会計監事 (学校法人根津育英会)
- 日時：2008年6月6日 (金) 12:00～13:00
- 場所：主婦会館プラザエブ東京都千代田区)
- 議題
  - ①第9回総会事前打合せ
  - ②事務事項報告

### (3) 2008年度第3回運営委員会

- 出席役員 (運営委員は50音順)
  - 林 英輔会長 (麗澤大学)
  - 斎藤 馨運営委員長 (東京大学)
  - 安東孝二運営委員 (東京大学)

- 小川禮子運営委員 (女子栄養大学)
- 坂下善彦運営委員 (湘南工科大学)
- 島野顕継運営委員 (大阪工業大学)
- 小野成志会計監事 (学校法人根津育英会)
- 日時：2008年10月24日 (金)
  - 12:00～13:00
- 場所：主婦会館プラザエブ東京都千代田区)
- 議題
  - ①2008年度上半期活動実績報告
  - ②2008年度下半期活動計画討議
  - ③事務事項報告

## 8. まとめ

CAUAシンポジウムの第1回は、2002年の大阪での開催でした。地域情報化をテーマとして、その後も、東京、京都、仙台、福岡、松山、札幌と全国各地で開催してきました。これはCAUA会長の林英輔先生の企画及びアレンジだからこそ実現できたもので、各地域の情報化の状況とビジョンを明確化し、地域間の比較を可能にするなどの成果を積み上げて参りました。さらに、その過程で林英輔先生から、地域情報化の方法論の提示や、社会共通資本の概念の導入などの提唱があり、CAUAの活動が地域情報化の研究に若干なりとも貢献できたのではないかと考えております。

その林英輔先生も2009年3月末で大学を満期退職される運びになりました。林英輔先生のこれまでのCAUAに対するご指導・ご鞭撻に対しまして深く感謝を申し上げるばかりです。

また、2008年度は「大学における電子メールの有り方」であるとか「大学改革ツールとしてのITの可能性」などのテーマを設定し、イベントを開催しました。ある意味CAUAらしいユニークなテーマ設定で、両イベント共に満席に近い参加者の皆様にお集まり戴きました。

来年度である2009年度は、いよいよCAUA設立10周年となります。CAUA事務局一同、気を引き締め直し、対応していきたいと決意しています。

最後になりましたが、CAUAを支えて下さったCAUA役員の先生方、CAUA会員の皆様方、賛助会員の皆様方に心より御礼申し上げます。どうも有難うございました。